

防衛庁の研究開発における 産学官連携の可能性について

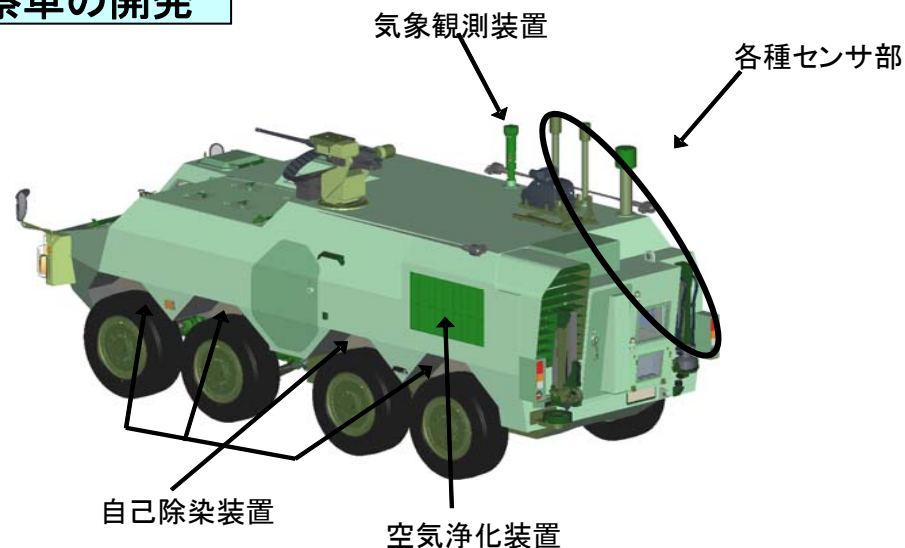
平成17年2月4日(金)
防衛庁

— 防衛庁の研究開発について —

現在研究開発中の装備品例(安心・安全に関する観点から)

NBC偵察車の開発

現有の化学防護車が持つ対核、対化学に加え、対生物の検知・識別等の偵察機能を一つの車体に搭載して運用するNBC偵察車を開発する。



生物兵器対処技術の研究

生物剤検知・同定技術及び生物剤等の多重脅威対処用の個人防護装置に関する研究を実施する。

光波自己防御システムの研究

輸送機やヘリコプター等に対する赤外線誘導方式の携行型地对空誘導ミサイルの脅威に有効に対処するためのシステムに関する技術を確立する。

次世代近接戦闘情報共有技術の研究

ゲリラ・コマンドゥ攻撃などの攻撃に有効に対応するため、機動性の高い情報通信網を構築し、刻々と変化する戦況に対し、隊員間で画像情報を含む多様な作戦情報を迅速かつ的確に、欠落なく交換する次世代近接戦闘情報共有技術に関する技術を確立する。

目次

	ページ
1. 防衛庁の研究開発の特徴	1
2. 防衛庁の研究開発における民生技術の活用	4
3. 防衛庁の研究開発における産学官の連携	8
4. まとめ	11

1. 防衛庁の研究開発の特徴

○ 研究開発にかかる防衛庁の所掌事務

防衛庁設置法（抜粋）

第5条 防衛庁の所掌事務は次のとおりとする。（抜粋）

14号 装備品等の研究開発に関すること。

15号 前号の研究開発に関連する技術的調査研究、設計、試作及び試験の委託に基づく実施に関すること。

※研究開発のための経費も、上記の所掌事務を遂行するための経費として全て防衛関係費の一環として計上される。

○ 研究開発の方針

平成 17 年度以降に係る防衛計画の大綱（抜粋） 16.12.10 閣議決定

V 留意事項

1（略）防衛力の整備、維持及び運用に際しては、次の諸点に留意してこれを行うものとする。

（2）装備品等の取得に当たっては、その調達価格を含むライフサイクルコストの抑制に向けた取組を推進するとともに、研究開発について、産学官の優れた技術の積極的導入や重点的な資源分配、適時適切な研究開発プロジェクトの見直し等により、その効果的かつ効率的な実施を図る。

中期防衛力整備計画（平成 17～21 年度）（抜粋） 16.12.10 閣議決定

III 自衛隊の能力等に関する主要事業

4 防衛力の基本的な事項

(3) 科学技術の発展への対応

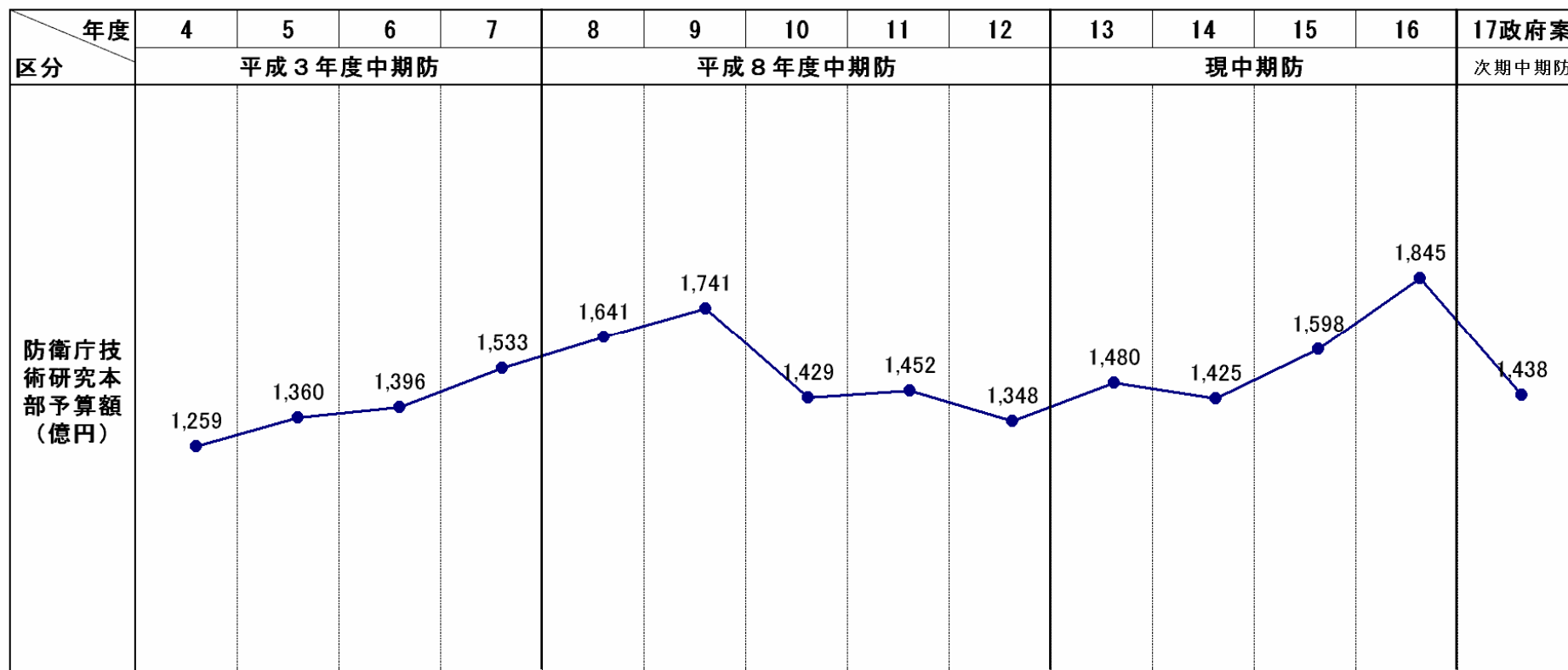
(イ) 研究開発の推進

引き続き、固定翼哨戒機(P-3C)の後継機、輸送機(C-1)の後継機、現有戦車の後継戦車の開発を推進するほか、科学技術の動向等も踏まえ、重点的な資源配分を行いつつ、各種指揮統制システム、無人機等の研究開発を推進する。その際、産学官の優れた技術の積極的導入、モデリング・アンド・シミュレーションの積極的な活用、装備品の共通化・ファミリー化、民生品・民生技術の活用、米国をはじめとする諸外国との協力等により、効果的かつ効率的な研究開発の実施に努める。

○ 防衛庁の研究開発予算

研究開発テーマによって増減する！

(歳出ベース)



※1 中期防：中期防衛力整備計画

※2 防衛庁の科学技術関係経費には、上記技本予算の他、防大、防医大の教官研究経費を含む。

(参考) 主要国における国防研究費の政府負担研究費に占める割合(2001年度)

日本 4.3%

米国 58.6%

仏国 25.4%

英国 47.4%

独 国 8.2%(2000年度)

出典：科学技術白書(平成15年度版)

2. 防衛庁の研究開発における民生技術の活用

(1) 防衛庁の研究開発における民生技術の利用

- 民生技術を取り込み、装備品を纏める事が前提
- **少ない研究開発費**の効率的な活用

従来から、
スピノンは積極的に実施

特に、近年の民生・学術分野の著しい発展を踏まえ、更に**様々な分野の優れた民生技術を見出し、裾野を広げる**ことは、優れた装備品の開発にとってもより効率的。